

令和6年度 第3回君津地区公民館運営審議会 会議録

開催日時 令和6年12月18日（水曜日）午後2時から午後4時30分まで

開催場所 周西公民館 多目的ホール（分散協議：会議室1・2・3）

出席委員 福島義人、佐々木睦、増田久美子、齊藤早苗、原園康寛、河野清治、廣部辰也
後藤吉郎、吉原吉一、圓川昭浩

欠席委員 大友みどり、吉田俊一

出席職員 君津中央公民館 平野館長・布施副主幹・柴田公民館主事
八重原公民館 山口館長・三枝副主査
周西公民館 鈴木館長・笹本副館長・矢代主任主事
周南公民館 小林館長・飯泉副館長

公開または非公開の別

公開 ・ 非公開

傍聴者 なし（定員 6名）

1 開会（進行 君津中央公民館 布施副主幹）

布施副主幹

それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第3回君津地区公民館運営審議会を始めます。本日、進行を務めます君津中央公民館の布施です。よろしくお願ひいたします。はじめに、委員長からあいさつをいただきます。

2 委員長あいさつ

布施副主幹

ありがとうございました。続きまして、本日会場であります周西公民館の鈴木館長からごあいさつ申し上げます。

3 鈴木公民館長あいさつ

布施副主幹

それでは、この後の会議の進行につきましては、審議会規則第8条第3項の規定に基づ

き委員長にお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

委員長

それでは、まず、本日の出席委員は10名で、可半数を超えておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。なお、大友委員、吉田委員については欠席のご連絡をいただいております。圓川委員はオンラインにて途中参加となることをご了承ください。

また、本会議は君津市審議会等の会議の公開に関する規則第3条の規定により公開となっております。同規則第6条の規定により会議は傍聴できることとなっておりますが、本日は傍聴者はありません。

それでは協議に移ります。

4 協議

委員長

「(1) 各公民館主催事業の進捗状況について」、君津中央公民館、八重原公民館、周西公民館、周南公民館の順に報告をお願いします。

柴田公民館主事

※別紙資料に基づき、君津中央公民館事業の進捗状況について説明

三枝副主査

※別紙資料に基づき、八重原公民館事業の進捗状況について説明

笹本副館長

※別紙資料に基づき、周西公民館事業の進捗状況について説明

飯泉副館長

※別紙資料に基づき、周南公民館事業の進捗状況について説明

委員長

説明が終わりました。ここで質疑ですが、進行の都合上、この場で確認をしておく必要がある事実確認・意見などに絞りお受けし、それ以外については各館個別に、もしくは次回会議で進捗確認できますので、そちらでお願いしたいと思ひますがいかがでしょうか。

無いようですので、「(2) 答申作成に向けて」としてワーキンググループの進捗状況、また答申のたたき台についてご説明をお願いします。

飯泉副館長

※別紙資料に基づき、ワーキンググループの進捗状況、答申のたたき台について説明。

委員長

ただ今ご説明頂きました。ありがとうございました。このあと今の報告内容をもとにグループでさらに深めていく予定ですが、今の段階で確認したい点、ご質問などを確認したいと思います。新たに盛り込んだ方がよい視点などはこの後のグループで協議しますので、それ以外の確認や不明だった点などいかがでしょうか。

飯泉副館長

まだ1章から3章まで粗削りなところもありますし、各館の課題も整理しきれていないところもあります。そのため、委員の皆さんが入れた方がよい視点や資料などのご意見があればお願いします。

委員長

特になければ、分散会に移ります。グループ分けについて事務局から説明をお願いします。

飯泉副館長

この後の地区別協議についてご説明いたします。資料で配布したワークシートの記入からお願いします。記入する際にお願いしたいことが、用語の取り扱いについては事前にお配りした答申書たたき台の語句に沿った意味合いで考えてください。

それを踏まえ、地域課題、地域活性化、公民館のあり方について意見ををお願いします。質問の1と2を実現するために、3では施設面や人員体制、予算、事業やそれ以外の関わり方など、必要なことについて記入をお願いします。そのあとシートに記入したことをもとに意見交換していただきたいと思います。終了後今回記入いただいたシートを集めさせてもらい第4章の題材にさせてもらいたいと思います。

第4回の審議会の際に答申書を出す形になりますが、その前に一度、原本をみなさんにお配りした上で確認していただいて、修正し第4回に諮る形にしたいと思います。

分散会の進め方については以上です。

三枝副主査

グループ分けを説明します。3グループに分けさせていただきます。

第1グループは多目的ホール、第2グループは会議室1・2、第3グループは会議室3に移動をお願いします。

今14時45分なので休憩をはさんで14時50分に協議を始めてください。15時

50分頃には多目的ホールで全体協議を行いますので、それまでにお戻りください。よろしくお祈いします。

(3グループに分かれて分散協議を実施)

委員長

時間となりましたので再開します。それぞれの協議概要を、第1グループから順番に、各3分程度で報告をお願いします。

笹本副館長

第1グループです。

こちらで出た意見は、学校と公民館とでは周西と中央の地区の分け方や、大和田が周西公民館区と中央公民館区で別れてしまい、ねじれがあります。それは周西公民館の設立時からなので、今すぐどうこうではないですが、地元で違和感があったり、活動で支障があったりするというこことで、重要なご意見でした。

また、来館者や参加者、サークル活動から離れて日本製鉄さんなど地元企業と協力して、地域の方々を集めて何か事業を行ったり、お互い関わりを持っていくことも良いのではないかということでした。

定年延長が70歳くらいになっている中で、60歳代前半の引きこもりの方もいて社会に出ていない方もいるとのこことで、そういった人的リソースを公民館としても上手く活用していったらよいのではないかというご意見などが出ました。

柴田公民館主事

第2グループです。地域課題に公民館が取り組んでいるかという点は、概ね取り組んでいるのではないかという評価をいただきました。例えば、各館でそれぞれテーマ性をもって文化祭を行っており多くの方が訪れています。多くの方が訪れるこことで、地域の人がつながるきっかけになったり、新たな学びに出会ったり、新しい交流の場になったりしており、これだけ多くの方が来たこことから地域の課題解決につながっているというご意見でした。

また、地域課題の多くは公民館が取り扱える範疇を超えているのではないかというご意見がありました。委員の皆さんが捉えている地域課題について、なぜそう思うのかという根底にある思いに触れるこことで、地域課題がよりはっきりと見えてくるのではないかという意見がありました。

人と人との関わりということ、実際にいろいろな事情で公民館や地域の活動に来られない方について、話し合いの中では無関心層という言葉で定義しましたが、この無関心層とどのようにかかわっていけるのかを考えていけるかが今後、地域課題解決のあり方として考えられるのではないかという意見がありました。

地域活性については、そもそも共通の課題や地域活性の方向性について同じビジョンを持っていないのではないかという意見がありました。

また、SNSやインターネットが発展している中、周知の工夫ができるのではないかとという視点と、対象区域を持っている公民館の足元のつながりづくりをどのようにしていくのかという2つの視点をどのように持つことができるのかが地域活性化を考える上で大切なことの一つではないかという意見がありました。

公民館については、子どもと高齢者の利用者が多い中、若者世代、働いている人たちの利用増につなげていくには、子どものうちからずっと公民館と親しみ続けられる工夫が必要ではないかというご意見がありました。

最後に公民館のあり方について、自治会をはじめとする地縁型の組織とのつながりをつくったり、あるいは各自治会をつないでいくのが公民館の役割ではないかという意見がありました。

矢代主任主事

第3グループです。地域課題の解決に向けた取り組みは「まあできている」と「あまりできていない」という評価でした。新しい取り組みができている、頑張っているというご意見をいただきましたが、文化祭をとっていても役員がいつも同じであり、新たな担い手や世代交代が必要なのではないかというご意見をいただきました。

地域課題を公民館が把握できているのかというご意見もありました。職員が足を運んで地域住民から声を拾えていないのではないかとということで、定期的に声を拾えていけたら良いのではないかとということでした。公民館がとらえている地域課題が、地域の方が考える課題とずれているのであれば、取り組み自体が違うものになってしまうのではないかとということでした。また、地域の方の考えや時代の変化に対応した取り組みを今後、行った方がよいということでした。

地域の方の声を拾っていく具体的な取り組みとして、自治会会議に参加させてもらって自治会の課題を聞き取って現状を把握していく方法があるのではないかとご意見でした。

地域には様々な団体があるので把握することと、その団体と接点を作っていくことが必要なのではないかとということでした。課題を聞き取る中で個人の課題もたくさん出てくると思うが、公民館としてどこまで入っていくかという意見もありました。

続いて地域活性化についてです。こちらも「まあできている」と「あまりできていない」の評価でした。公民館に来る人が少ないので、シンプルに行きたくなるような取り組みが必要ではないかという点と、公民館が取り組んでいることを知らないで情報発信に力を入れて欲しいというご意見がありました。

困っている人同士をつないでいく、人の心と心のつながりを作っていく必要があるのではないかとご意見がありました。

また住民にもう少しわかりやすく伝えて欲しいというご意見がありました。メールやLINEも活用していますが、子ども向けであれば通学路の電柱にチラシを張るなど対象に合わせた周知の工夫をしていく必要があるのではないかということでした。

最後に公民館のあり方です。公民館の職員が不足しているのではないかというご意見がありました。今回の取り組みを通して、課題が見えてきていても人手が足りず手が足りなくなってしまうのではないかというご意見でした。また足りないという部分を知恵を出し合ったり、地域の方にも参加してもらうなどの工夫で解決していけないかということでした。

人口が減少している中で公民館の活動が今後成り立つのかというご意見もいただきました。住民が減っていくと公民館活動も成り立たなくなっていくので、今後の課題になっていくのではないかというご意見でした。

委員長

ただ今、3グループから報告いただきました。ありがとうございます。今作成中の答申たたき台にさらに盛り込んだ方が良い点やお気づきの点などがあれば遠慮なくご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。

特に無いようですので、本日の内容をさらにワーキングチームで整理していただき、答申を進めていただきたいと思います。ところで予定だと今年度の会議があと1回になると思いますが、答申の仕上げまでの大まかなスケジュールについては、事務局に説明をいただけますでしょうか。

飯泉副館長

本日皆さんに記入いただいたワークシートを集めさせていただいてまとめていきます。ワーキングチームは3回ほど開催させてもらいます。2月にはまとめて皆さんに一度お送りさせていただきます。そのあとご意見をまとめて、委員長にもご確認いただいて3月に完成形のたたき台をお送りいたします。

委員長

ありがとうございます。2月頃にはたたき台ができあがるということです。

それではそろそろお時間ですので、ワーキングチームの皆さんには先ほどのご意見を参考にいただければと思います。皆さんありがとうございます。

それでは、「5のその他」ですが、事務局は何かありますか。

布施副主幹

本日閉会后に生涯学習文化課から皆様にご連絡する事項がありますので少々お時間いただきます。

三枝副主査

次回の審議会は3月18日の14時から八重原公民館になります。

君津地方社会教育推進大会のご案内を配付させていただきました。君津が担当市になっておりますので積極的にご参加ください。

今日のこの時間内ではワークシートを書ききれないというご意見をいただきましたので、データをメールで送りますのでご返信をいただければと思います。

委員長

委員の皆様からは何かございますか。よろしいでしょうか。

それでは本日の予定は全て終了しました。進行を事務局にお返しします。

布施副主幹

河野委員長ありがとうございました。以上を持ちまして、令和6年度第3回君津地区公民館運営審議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。